学校番号	１１１

令和２年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	最新高等保健体育　（大修館書店）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代社会におけるスポーツの意義や必要性を理解し、生涯にわたり自らが運動を実践できる能力を身につけるようにしよう。
・正しい服装、安全に配慮し時間、ルールを守り授業に参加できるようにしよう。
・各領域・各種目の特性を学び協力、責任を果たし、運動を楽しむことができるようにしよう。

２　学習の到達目標

・各種の運動の合理的な実践を通じて、自己の能力に応じて自らの力で運動能力を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうとともに体力の向上を図る。
・運動や健康の科学的な理解の上に立って運動を実践・公正・協力・責任などの社会的態度を育て、生涯を通じて明るく豊かで活力のある生活を営む資質や能力を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう自ら進んで計画的に運動しようとしている。	自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題を見つけ出しているか 課題解決目指して活動の仕方を考え工夫している	自己の能力と運動の特性に応じた課題解決を目指して運動を行い技能を高めているか、また、自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の行い方を身につけている	運動技能の仕組みと運動の学び方について理解できている。
評価方法	・受講状況観察 ・授業やゲームへの参加態度（時間を守る・協力性・意欲・安全に対する態度・種目の理解・スポーツマンシップ・服装等）	・それぞれの種目・グループでの課題	・実技テスト 種目の基本技術テスト	・それぞれの種目、試合でのルール

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	選択種目	ライトバレーボール、バドミントン、卓球から1種目 ソフトボール、テニス、ミニサッカー、フライングディスクから1種目	○	○	○	○	a:選択した種目の楽しさを味わうことができるよう、体力の違いに配慮しようとすることなど、健康・安全を確保して学習に自主的に取り組もうとしている。 b:生涯にわたってスポーツを豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:種目の特性に応じてゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間との連携した動きを身につけている。 d:技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	受講態度の観察 技術観察
2学期	選択種目	ライトバレーボール、バドミントン、卓球から１種目 ソフトボール、テニス、ミニサッカー、フライングディスクから１種目	○	○	○	○	a:選択した種目の楽しさを味わうことができるよう、体力の違いに配慮しようとすることなど、健康・安全を確保して学習に自主的に取り組もうとしている。 b:生涯にわたってスポーツを豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:種目の特性に応じてゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間との連携した動きを身につけている。 d:技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	受講態度の観察 基本技術 技能観察

3学期	選択種目	ライトバレーボール、バドミントン、卓球から1種目 ソフトボール、テニス、ミニサッカー、フライングディスクから1種目	○	○	○	○	a:選択した種目の楽しさを味わうことができるよう、体力の違いに配慮しようとすることなど、健康・安全を確保して学習に自主的に取り組もうとしている。 b:生涯にわたってスポーツを豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:種目の特性に応じてゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間との連携した動きを身につけている。 d:技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	受講態度の観察 技術観察

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:運動の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。